



安らぎとにぎわいが織りなす やおつらしさを育むまち
～Smiles for Well-Being～

やおつ

議会だより

No.200

2025.11



新たな議会構成が決まりました！

新議長は後藤一夫議員 新副議長は長谷川泰幸議員

議会の構成が変わりました 2

第3回定例会情報 3

第3回定例会議決情報 6

第3回定例会 一般質問 7

議会トピックス 11

議会日誌 12



令和7年9月17日から議会の構成が変わりました 新たな体制で議会活動が始まりました。ご期待ください！

9月定例会において、新たな議会構成が決定しました。

議会の使命は、町の政策を最終的に決定すること、決定した政策を行う執行機関が適正に事業を行っているかを監視すること、政策提言など様々です。これから2年間、町民の皆様の立場に立って、議会活動を進めてまいります。

令和7年9月 議会構成

議長 後藤 一夫

副議長 長谷川 泰幸

議会運営委員会	
委員長	林 俊宏
副委員長	加藤 良治
委 員	アディ工三恵
同	安藤 峰行
【所管事項】	
定例会および臨時会の会期等、議案・請願・陳情の取り扱い、議会運営の効率化・秩序維持・議長の諮問事項に関する調査	
監査委員（議会選出委員）	
赤塚 孝博	

総務民生常任委員会	
委員長	アディ工三恵
副委員長	林 俊宏
委 員	後藤 一夫
同	赤塚 孝博
同	三宅 和行
【所管事項】	
総務課、秘書室、防災安全室、町民課、健康福祉課、選挙管理委員会、監査委員会、固定資産評価審査委員会の所管に属する事項と、他の常任委員会の所管に属しない事項	

建設文教常任委員会	
委員長	安藤 峰行
副委員長	加藤 良治
委 員	渡邊 成章
同	後藤 香代里
同	長谷川 泰幸
【所管事項】	
建設課、農林課、水道環境課、地域振興課、教育委員会、農業委員会の所管に属する事項	

より透明性の高い開かれた議会、町民の皆様の生活に寄り添う議会を目指し、議会活性化を進めてまいりますとともに、議会のDXをさらに推進してまいります。皆様の更なるご指導、ご協力を心からお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

八百津町議会 議長 後藤一夫
副議長 長谷川泰幸

町民の皆様には、町議会に対し、平素より格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。この9月議会定例会の議会構成により、私たちが議長・副議長の重責を担うことになりました。誠に光栄に存じますとともに、その責任の重さに身の引き締まる思いです。

皆様の温かいご指導とご協力を賜りながら、信頼と期待にお応えできるよう、議会運営に全力を注ぐ所存です。



議長 後藤 一夫



副議長 長谷川 泰幸

議長・副議長就任あいさつ

9月 定例会

●令和7年度八百津町一般会計補正予算(第4号)など

19議案を可決・承認・同意

●令和6年度一般会計など各会計決算6件を認定

令和7年第3回定例会は、去る9月5日に招集され、同月17日まで13日間の会期で開かれました。

本会議初日の5日には、金子町長から行政報告と提案理由が説明され、続いて、執行部から提出議案16件について議案説明が行われました。次いで、各議案に対する質疑が行われた後、各常任委員会にそれぞれ議案の審査が付託されました。

本会議2日目の17日には、5名の議員が一般質問を行いました。この様子はCCTVで生中継、録画放送され、動画の配信もされています。その後、各常任委員会委員長から、付託された案件についての報告があり、採決を行いました。続いて、追加提案された人事案件2件に同意しました。

その後、安藤議長から辞職願が提出され、辞職が許可されたことにより、議長・副議長の選挙を執行しました。次いで、各常任委員会委員、議会運営委員会委員の選任と各正副委員長の互選を行いました。追加提案された監査委員の選任に同意し、今定例会を閉会しました。

補正予算の主な事業を第6次総合計画の基本目標に沿って説明します。

基本目標1 笑顔に満ちた健康で安心のまちづくり

○子育て世帯応援券交付事業 722万9千円

基本目標2 人と文化を未来につなぐまちづくり

○指定文化財保護費補助金 11万9千円

基本目標3 地域らしい産業と活力あるまちづくり

○ふるさと応援寄附金推進事業 105万円

○フレンドリーパークおおひら樹木管理委託料 14万9千円

基本目標4 快適で安全な暮らしを支えるまちづくり

○YAOバス運行事業 200万1千円

○建築物等耐震化促進事業補助金 109万円

【結果】
認定
められました。され
た予算の執
行が適正に
行われてい
ると認め
ます。

出決算認定

▼令和6年度八百津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定

▼令和6年度八百津町一般会計歳入歳出決算認定

▼令和6年度八百津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定

決 算

【結果】
可決

▼八百津町職員定数条例の一部を改正する条例
職員定数の範囲を明確にするため、条例の一部を改正するものです。

条 例

▼民生関係の追加
子育て世帯応援券交付事業によるもので、次のとおりです。
【結果】
承認

▼令和7年度八百津町一般会計補正予算(第4号)
子育て世帯応援券交付事業によるもので、次のとおりです。
【結果】
承認

専決処分

主にこんなことが決まりました



▼令和6年度八百津町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定

令和6年度八百津町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定

令和6年度の公営事業会計の決算について、上・下水道ともに適正に執行されていると認められました。

【結果】可決・認定

決算状況については、「広報やおつ」11月号をご覧ください。

予 算

▼令和7年度八百津町一般会計補正予算（第5号）

主な内容は、過年度分国庫・県支出金返還金、YAOバス運行経費負担金、ふるさと応援寄附金推進事業費広告料などで、次のとおりです。

▼総務関係の追加···305万1千円
▼民生関係の追加···505万6千円
▼衛生関係の追加···125万9千円
▼商工関係の追加···14万9千円
▼土木関係の追加···109万円
▼教育関係の追加···11万9千円
【結果】可決

▼令和7年度八百津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

制度改正に伴うシステムの改修費です。

▼総務関係の追加···321万8千円

【結果】可決

▼令和7年度八百津町介護保険特別会計補正予算（第1号）

過年度分国庫・県支出金返還金です。

▼諸支出金の追加···559万1千円
【結果】可決



決算認定とは？

決算認定とは、町の各会計の決算内容を確認し、確定することです。町に入ってくるお金（歳入）と使ったお金（歳出）を確認し、予算を執行した結果、どのような成果を上げたかを確認します。監査委員の意見書が添えられた「決算書」、「決算附属書類」をもとに、慎重に審議しています。

▼令和7年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）

過年度分国庫・県支出金返還金、制度改正に伴うシステムの改修費です。

▼総務関係の追加···648万5千円
▼諸支出金の追加···782万8千円
【結果】可決

人 事

▼固定資産評価審査委員会委員

永田 雅也 氏

任期 令和7年10月1日から
令和10年9月30日まで
3年間

▼教育委員会委員

杉山 文 氏

任期 令和7年10月1日から
令和11年9月30日まで
4年間

▼監査委員

赤塚 孝博 議員

任期 令和7年9月17日から
令和9年9月10日まで



など

○事業が適正に執行され、費用はむだなくきちんと使われているか。

○町民の暮らしにどのように活かされているか。

ピックアップ！

ピックアップ

香員会での主な質問

Q 消防団の新入団員の数を教えてください。

A 令和6年度の新入団員数は13人です。全体の団員数は、令和6年度282人、令和7年度284人です。

Q 緊急通報装置を貸与している世帯は何世帯ありますか。貸与には手続きが必要ですか。

A 65歳以上のひとり暮らしの方などを対象に、64世帯に1台ずつ貸与しています。貸与には申請が必要です。民生委員の方をおおして申請される場合が多いです。

Q 移住者対応空き家改修補助金を活用して移住された方の、数の推移を教えてください。

A 空き家バンクに登録し制度を活用された戸数は、令和5年度は7戸、令和6年度は6戸の実績がありました。

Q 米の不足や価格高騰が心配されていますが、学校給食に影響はありましたか。

A 岐阜県学校給食会で米を確保しているため、量の不足はありません。また、物価高騰による費用の不足分は町で対応しています。

八百津町議会 次回の定例会は 12月3日(水) 開会の予定です

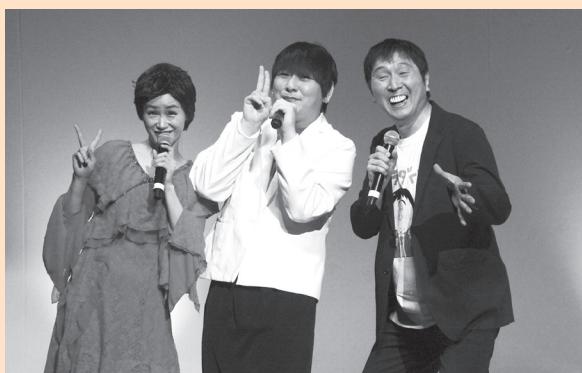
一般質問の様子は
CCNet 地デジ 12ch で
生中継・録画放送されます

詳細は議会事務局へお問い合わせください。

☎43-2111(内線2303)

Q 令和7年4月にハヤブサ・ミュージアムが増設し、グランドオープンされました
が、来館者数などの状況を教えてください。

A 来館者数は、オープンした令和5年1月から3月までは2433人、令和6年
度は6007人、令和7年4月から8月ま
では2988人です。特産品の販売やマ
ルシェの開催なども行っています。



10月18日(土)、八百津町合併70周年記念イベント「ほ
いけんた&Mr. シャチホコ 爆笑! ものまねステージ」が
八百津町ファミリーセンターで開催されました。

次々と繰り出されるものまね、歌にトークに庄巻のス
テージでした。会場は終始たくさん笑いに包まれ、大盛
況のうちに幕を閉じました。

9月定例会 議案等の審議結果

全ての議案等が全会一致で承認・可決・同意されました。

議決結果：○…可決、承認、同意 X…否決、不承認、不同意
賛否状況：○…賛成 X…反対 −…議長は採決に加わらない

議案番号	議 案 名	結果	ア デ イ エ 工 三 成 惠 章 夫 行 里 博 幸 治 宏 行	渡 邊 藤 一 峰 香 代 里 博 幸 治 宏 行	後 藤 安 藤 峰 孝 泰 良 俊 和 行	後 藤 赤 塚 孝 泰 良 俊 和 行	長 谷 川 泰 治 宏 行	加 藤 林 宅 和 行	三 宅 和 行	主 な 内 容	
			ア デ イ エ 工 三 成 惠 章 夫 行 里 博 幸 治 宏 行	渡 邊 藤 一 峰 香 代 里 博 幸 治 宏 行	後 藤 安 藤 峰 孝 泰 良 俊 和 行	後 藤 赤 塚 孝 泰 良 俊 和 行	長 谷 川 泰 治 宏 行	加 藤 林 宅 和 行	三 宅 和 行		
議案 第42号	専決処分した事件の承認について（令和7年度八百津町一般会計補正予算（第4号）	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									722万9千円を追加し、総額を66億1902万2千円とする
議案 第43号	八百津町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									国の地方公共団体情報システム共通機能標準仕様書に規定する住登外者宛名番号管理機能によって事務及び情報連携を行うためには、個人番号の独自利用を行う事務等として条例に定める必要があるため、条例の一部を改正するもの
議案 第44号	八百津町職員定数条例の一部を改正する条例について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									一般職職員の定義を改め、職員定数の範囲を明確にするため、条例の一部を改正するもの
議案 第45号	令和6年度八百津町一般会計歳入歳出決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									歳入 71億2452万9833円 歳出 66億4815万9711円
議案 第46号	令和6年度八百津町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									歳入 12億3499万6745円 歳出 12億1522万8807円
議案 第47号	令和6年度八百津町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									歳入 2億3513万4476円 歳出 2億2909万3341円
議案 第48号	令和6年度八百津町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									歳入 12億4829万8530円 歳出 12億4254万5543円
議案 第49号	令和6年度八百津町水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									収益的収支 収入 3億8291万5607円 支出 3億5436万9728円 資本的収支 収入 3億2405万2900円 支出 3億5934万4669円
議案 第50号	令和6年度八百津町下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									収益的収支 収入 4億2488万307円 支出 4億618万7200円 資本的収支 収入 1億3291万6000円 支出 2億6708万2999円
議案 第51号	令和7年度八百津町一般会計補正予算（第5号）	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									1072万4千円を追加し、総額を66億2974万6千円とする
議案 第52号	令和7年度八百津町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									1431万3千円を追加し、総額を13億1151万1千円とする
議案 第53号	令和7年度八百津町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									321万8千円を追加し、総額を2億4477万5千円とする
議案 第54号	令和7年度八百津町介護保険特別会計補正予算（第1号）	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									559万1千円を追加し、総額を13億5059万1千円とする
議案 第55号	岐阜県市町村会館組合規約の変更に関する協議について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									岐阜県市町村会館組合規約の一部を変更することについて関係地方公共団体と協議するため、地方自治法第290条の規定に基づき議会の議決を求めるもの
議案 第56号	岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継等に関する協議について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									岐阜県市町村会館組合の解散及び財産処分並びに事務の承継に関して他の関係地方公共団体と協議することについて、地方自治法第290条の規定により議会の議決を求めるもの
議案 第57号	岐阜県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約の変更に関する協議について	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									岐阜県市町村職員退職手当組合から岐阜県市町村会館組合が脱退すること及び岐阜県市町村職員退職手当組合規約を変更することについて、関係地方公共団体が協議することにつき、地方自治法第290条の規定により、議会の議決を求めるもの
議案 第58号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求ることについて	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									任期満了に伴う委員の選任（永田 雅也 氏）
議案 第59号	教育委員会委員の任命につき同意を求ることについて	○ ○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									任期満了に伴う委員の選任（杉山 文 氏）
議案 第60号	監査委員の選任につき同意を求ることについて	○ ○ ○ − ○ ○ ○ ○ ○ ○									辞任に伴う監査委員の選任（赤塚 孝博 氏）

一般質問

～主な質問と答弁の趣旨～

一般質問と答弁は、質問議員本人の文責で掲載しています。

一般質問を動画配信しています ゼひご覧ください

「YouTube 八百津町議会チャンネル」



質問者	質問事項	QRコード
アディエ 三恵	・八百津町のクマ出没への対応について ・イノシシなど鳥獣被害対策について ・クマ出没時における子どもの安全確保について	
林 俊 宏	公共交通の現状と今後及び支援策について	
後藤 香代里	高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について	
加藤 良治	・義務教育課程における熱中症対策の現状と今後の対策について ・一般廃棄物に伴う諸課題への現状把握、今後の在り方について	
長谷川 泰幸	学校準備基金の創設について	

アディエ 三恵 議員

「八百津町のクマ出没への対応について」「イノシシなど鳥獣被害対策について」「クマ出没時における子どもの安全確保について」



動画をチェック！



問1

近年、全国的にクマによる人身被害が多発している。本町でも久田見地区などにおいて目撃情報が報告されており、町民の安全が懸念される。八百津町としてクマの出没への対応方針について伺う。

問2

①町内猟友会会員数の推移と現状について伺う。
②町内には2か所のジビ工加工施設があり、猟友会員にとっても利便性が高いと考えられる。町としてはこれらの施設をどのように捉えられているのか伺う。

問3

子どもの安全確保の観点から、クマ出没時または目撃時における学校や関係団体の対応策はどうなっているか。また、登下校時の対応マニュアルの現状を伺う。

答1 (中嶋農林課長)

八百津町に生息するのはツキノワグマで、臆病な動物ですが人里近くで目撃されることがあります。町では目撃情報を確認のうえ、警察や関係機関へ連絡し、「やおつーしん」や県の「クママップ」で公表しています。昨年度は登山道などに熊除けの鐘を設置し、今年度からは注意看板による啓発も始めました。被害防止には遭遇を避けることと生活圏に寄せないことが重要であり、山に入る際は鈴やラジオの携帯、複数人での行動を呼びかけています。果樹や落果の放置も誘因となるため、町民の皆様には早めの処分や柵の設置などのご協力をお願いしています。

←…次ページへ続く



答2 (中嶋農林課長)

①八百津町ではイノシシやサル、シカなどによる農作物被害が毎年発生しており、電気柵などの自衛に加え、猟友会に委託して捕獲を行っています。猟友会会員数は、10年前の60名から現在45名に減少しましたが、移住者や若い世代の新規加入もあり、一定の組織力は維持されています。町では「狩猟免許取得者補助金制度」や助成制度を活用し、会員確保に努めています。

②ジビエ加工施設は現在2か所に増え、捕獲後の処理負担を軽減するとともに、町の特産品化や観光振興にもつながることが期待されています。

答3 (社本教育長)

教育委員会では、クマ出没時の対応マニュアルとしてチェック表を作成し、登校前・在学時・日常の指導や管理の場面ごとに対応を定めています。登校前は登校可否や通学路パトロール、在学時は施錠や下校方法の決定を行い、日常的には熊鈴の携行、学校敷地の環境整備、児童生徒への遭遇時の心構えの指導を実施しています。指導内容は「慌てて逃げない」「後ずさりで離れる」「走らない」「一人で行動しない」「子ども 110 番の家に助けを求める」など具体的な行動指針を示しています。さらに、県作成のチラシや緊急時メール配信を通じて、保護者への注意喚起も行っています。



林 俊宏 議員 「公共交通の現状と今後及び支援策について」

問1-1

- ①やおまる西部（定時定路線）は、やおまる東部（デマンド交通）と比較すると利用者数が少ないが、その要因の究明及び、利用者増に向けた計画や改善策などの考え方を伺う。
- ②東鉄バス八百津線の令和5年度の利用者は8,160人であった。効率的な運行と利便性の向上を図るうえで、今後の計画などの考え方を伺う。

動画をチェック！



問1-2

公共交通の乗降口までの移動が大変で、利用しづらいという声を聞く。利用者に対して何らかの支援策はあるか伺う。

答1-1 (赤塚地域振興課長)

①やおまる東部は、ミーティングポイントを設置することで、自宅から比較的近い場所でサービスを受けられます。やおまる西部は、定時定路線で中川辺駅や人道の丘、錦織などを結ぶ路線を運行しています。町内運行経路上であれば、手を挙げてバス停以外でも乗降が可能ですが、運行時間や目的地に不便さを感じ、利用を避ける傾向があると考えられます。今後の計画として、ダイヤ設定やルート設計を検討するために、中部運輸局、岐阜県、交通事業者の協力を得ながら、持続可能な新たな地域公共交通計画の見直しを行っていきます。

②東鉄バス八百津線は事業者路線で、不採算路線であったため、令和2年1月に事業者より廃線の申し出がありました。令和3年度から赤字補填として町が70%を負担し、令和5年度からは美濃加茂市も一部負担をしています。今年度からは90%を赤字補填しています。

この路線は八百津町と美濃加茂市を結ぶ重要な移動手段であるため、交通事業者や美濃加茂市と綿密に話し合いを重ね、運行形態の検討、運行ダイヤの見直しなど、合理的かつ効率的な運行となるよう働きかけてまいります。

答1-2 (岩井健康福祉課長)

障がい施策では、通常の家庭生活及び社会参加などの活動に対し、ガイドヘルパーを派遣する移動支援事業を行っています。また、国事業として障がい支援区分の認定が必要ですが、乗降介助等で利用できる居宅介護サービスや行動援護等のサービスがあります。介護保険サービスでは、通院・外出介護や介護タクシーの利用ができます。

助成制度では、重度の障がい者手帳をお持ちの方や免許返納された方に対して交通費の助成を行っています。利用ニーズを補完する提案ができるよう、今後も相談技術の向上や関係機関との連携に努めてまいります。



後藤 香代里 議員 「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について」

動画をチェック！



問1-1

令和6年度より始まった本事業について、①令和7年度の取り組み、②課題、③将来的ビジョンについて尋ねる。

問1-2

本事業の開始により、①従来の介護予防事業にどのような効果があったか、②今後この事業をどのように活用していくか。

答1-1 （後藤町民課長）

- ①重症化が懸念される方には電話確認、運動教室などを行い(ハイリスクアプローチ)、だれでも参加できるオレンジカフェやサロンの参加者にはフレイル予防体操などを行っています(ポピュレーションアプローチ)。一体的な実施のLINEアカウントでは、健康相談、食事メニューなどフレイル予防体操などの配信を行い、双方向の活用を目指しています。
- ②昨年度のポピュレーションアプローチでは参加人数が限られていたため、フレイルなどのリスクの把握が少ないものとなりました。
- ③「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」といわれる健康寿命の延伸、医療費・介護給付費の増大の圧縮を目指してまいります。

答1-2 （岩井健康福祉課長）

- ①個人の体の状態をデータとして可視化し、保健事業で得られた健診データと紐づけることができました。潜在リスクの分析や医療費の傾向などをまとめた資料を作成し、資料をもとに参加者自身が健康状態を知ることができました。また、職員間の共有資料として活用が可能になったなどの効果がありました。
- ②潜在リスクのある高齢者に積極的な訪問を行い、多角的な視点から介護予防と保健事業等を組み合わせた支援の提供や、社会参加につながる支援を行っていきます。また、介護予防事業の教室でも参加者の身体データを収集しているため、保健事業に提供し、潜在リスクの分析に活用するなど、保健と介護の双方向の連携を図っていきたいと考えています。

加藤 良治 議員

「義務教育課程における熱中症対策の現状と今後の対策について」「一般廃棄物に伴う諸課題への現状把握、今後の在り方について」



動画をチェック！



問1

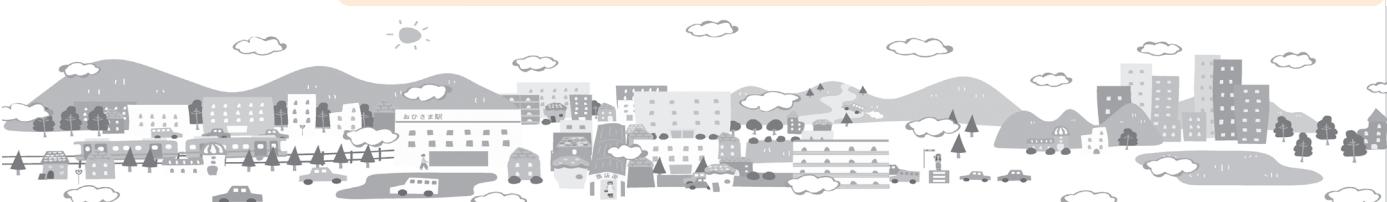
小中学校の熱中症対策について、以下の点を伺う。

- ①当町における現時点での熱中症対策の実施状況について
- ②通学や校内活動時のファン付ベスト等の使用または購入支援、ネッククーラー等の保冷庫の整備など、熱中症対策の強化の必要性について

問2

高齢化の進展に伴い、今後ゴミ出しなどに支援を必要とする住民の増加が予想される。以下の点について伺う。

- ①自治会班数とゴミ集積所の設置数の差異の現状について
集積所設置の見直しの必要性について検討する考えはあるか。
- ②ゴミ袋の購入方法、取扱店の追加・見直しについて
購入方法や販売店の拡充の必要性について検討する考えはあるか。
- ③ゴミ出し支援に関する先進事例の導入検討について
先進事例を調査研究し、当町へも導入を検討する考えがあるか。



◆◆次ページへ続く

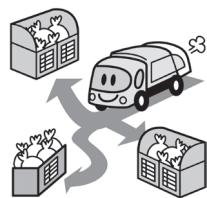


答1 (社本教育長)

- ①教育委員会では、学校における熱中症ガイドラインを令和4年に策定し、令和6年に改定版を出しています。熱中症発症のメカニズムを正しく把握したうえで、最善の対応ができるようにするためです。予防策の基本として、環境条件をできるだけ正確に把握すること、環境状況に応じて教育活動の実施の検討を行うこと、水分や塩分等の補給に留意することを大切にしています。ネッククーラーや日傘の利用は各学校が認めています。
- ②ファン付ベストはメリットもありますが、温度や湿度によっては限界点があり、条件を超えるとあまり効果がないことをメーカーが公表しています。また、バッテリーの発火や重量等のデメリットがあります。ネッククーラーの保冷庫は、設置場所や衛生面での配慮が必要です。先行事例や文部科学省の指導、学校現場の声等を整理、研究し、よりよい対策を検討してまいりたいと考えています。

答1 (林水道環境課長)

- ①ごみ集積所の配置は、各自治会の班ごとに設置するなどの運用ではなく、地域の利用状況や町内全域での効率的な収集運搬作業を考慮して、長年にわたり総合的に整備されてきたものです。現状の集積所の配置は効率的であると判断しており、見直しは考えていません。
- ②指定ゴミ袋の販売店は町内に26店舗あります。改めて、町内の事業者様に対して指定ゴミ袋の販売店として新規にご登録いただけるよう、積極的な働きかけを行い、販売店舗の拡大に努めます。
- ③地域の協力者や自治会などによるゴミ出し支援策もありますが、すでに八百津町社会福祉協議会や各種団体、事業者の皆様により支援が行われています。また、ゴミの戸別回収をはじめとする直接的な支援策は、現状の収集運搬業務に多額の費用を投じている中、新たな費用の発生を伴い、町民の皆様の負担に直結するものです。現時点では支援策の導入は考えていませんが、まずは他市町村の事例や制度について調査させていただきます。



長谷川 泰幸 議員 「学校準備基金の創設について」



動画をチェック!



問1-1

八百津西部地区にある3小学校は、いずれも築60年以上経っており、老朽化が著しく、八百津町小中学校の今後の在り方検討委員会の答申や、外部学識経験者による提言書にも、少子化、老朽化による新校舎建設の方向性にふれている。学校準備基金の創設が重要と思われるが、執行部の考えを伺う。

問1-2

今後、学校建設のために活用を想定している「明日のまちづくり基金」へ積立金額の積み増しは考えているか。

答1-1 (古田副町長)

今後の学校の在り方について、八百津町小中学校の今後の在り方検討委員会の答申を受け、統合を想定しております。来年度には基本的な方向性を出しますので、そこで初めて概算事業費の積み上げに取り掛かれることになります。事業費に対しての財源のひとつとして、「明日のまちづくり基金」の活用を予定しています。

金額や時期などを見極め、基金の創設も含めて適切に判断していきたいと考えています。

答1-2 (古田副町長)

方向性の決定後になると思いますが、場合によっては積み立ての増額や基金の創設等を考慮する場合があると考えています。資金が原因で学校再編に遅れが出ないよう十分配慮をしていく所存です。

退任あいさつ



議長 安藤 峰行
副議長 後藤 一夫

議長・副議長の職を退任いたしました。在職中は格別のご支援とご厚情を賜り、皆様のお陰をもちまして大過なく職責を果たすことができましたことを心から厚くお礼申し上げます。

なお、今後とも町発展のため、一層の努力をいたす所存でございますので、変わらぬご指導とご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

議会トピックス

ハラスメント研修を実施



9月26日（金）、議員がハラスメント研修に参加しました。議会では、『より開かれた議会』を目指し、議会力アップのための学びの場を設けています。今回は、「ハラスメントリスクを低減するモノの言い方」をテーマに、不用意な発言をしないための意識や、今の時代に沿った発言へのポイントなどを学びました。

第76回岐阜県町村議会議長会定期総会に出席



10月7日（火）、岐阜市で行われた第76回岐阜県町村議会議長会定期総会に正副議長が出席しました。定期総会では、後藤議長が令和8年度の国・県の予算や施策に関する要望について提案説明をしました。また、「いま地方議員に何が求められているのか？」をテーマに研修を受けました。

議会日誌

(令和7年7月から9月)

[7月]

- 1日 ○町議会議員行政視察研修
- 3日 ○東海環状自動車道中東濃地域建設促進協議会定期総会
- 10日 ○可茂地域一部事務組合議会臨時会
- 14日 ○国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会
○リニア中央新幹線建設促進岐阜県期成同盟会
- 18日 ○議会全員協議会
※監査委員研修協議会総会・研修会
- 23日 ○議員研修
(データ分析・活用研修)
○公会計説明会
- 24日 ○民生委員推薦会
○四線促進期成同盟会総会
- 25日 ※例月出納検査
- 27日 ○杉原千畝記念短歌大会表彰式
- 31日 ○地域公共交通協議会

[8月]

- 2日 ○八百津町合併70周年記念式典
- 3日 ○蘇水サマーフェスタ
- 4日～6日 ※決算審査
- 6日 ○国道418号整備促進期成同盟会定期総会
- 7日 ○可茂町村議会議員研修会
- 8日 ○戦没者合同追悼式
- 22日 ○リトアニアNOW2025
- 25日 ※例月出納検査
- 26日 ○岐阜県町村議会議長会評議員会
※隨時監査
- 28日 ○中学生海外派遣研修結団式

[9月]

- 2日 ○議会運営委員会
- 5日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会開会
- 6日 ○八百津脱炭素プロジェクトシンポジウム
- 10日 ○総務民生常任委員会
- 11日 ○建設文教常任委員会
- 17日 ○議会全員協議会
○第3回議会定例会閉会
- 25日 ※例月出納検査
- 26日 議員研修(ハラスメント研修)

議会だより編集委員も
新体制に変わりました！



長谷川 泰幸 副議長 後藤 一夫 議長
アディエ 三恵 議員 渡邊 成章 議員

議会だよりは
200号
を迎えました！

開かれた議会の実現を目指し、町民の皆様に議会活動を分かりやすくお伝えできるよう、議会だよりの制作に取り組んでまいります。

一般質問
動画配信中！
ぜひご覧ください

「YouTube 八百津町議会チャンネル」



チャンネル登録お願いします

